

# 対馬下島西岸域における 石屋根倉庫と群倉の 立地特性と立地要因に関する研究

## 1. 研究背景

- ・石屋根の消滅が危惧される
- ・日本でも数少ない石屋根と群倉という文化の再評価の必要性
- ・対馬下島西岸域の複数の集落を対象とした先行研究が少ない

## 2. 研究目的

石屋根倉庫の現存棟数と群倉の現況を調査した上で、石屋根倉庫の現存する集落と群倉の立地特性を分析し、それらの特性がみられる要因を気候風土や生業との関連から明らかにすること。

## 3. 研究方法



## 5. 分布調査結果

調査対象の9集落のうち7集落で2006年の市調査時と比較して石屋根倉庫の棟数が減少していた。群倉は内山を除いた8集落で確認された。

石屋根倉庫と群倉の分布調査結果

| 集落名        | 石屋根倉庫の棟数 |       | 石屋根倉庫の減少棟数 | 群倉の有無 |
|------------|----------|-------|------------|-------|
|            | 2006年市調査 | 2015年 |            |       |
| 対馬市厳原町内山   | 2        | 2     | 0          | 無し    |
| 対馬市厳原町豆殿瀬  | 1        | 0     | 1          | 有り    |
| 対馬市厳原町佐須瀬  | 2        | 1     | 1          | 有り    |
| 対馬市厳原町久根浜  | 6        | 3     | 3          | 有り    |
| 対馬市厳原町久根田舎 | 18       | 16    | 2          | 有り    |
| 対馬市厳原町上槻   | 2        | 1     | 1          | 有り    |
| 対馬市厳原町椎根   | 7        | 7     | 0          | 有り    |
| 対馬市厳原町小茂田  | 2        | 1     | 1          | 有り    |
| 対馬市厳原町阿達   | 2        | 1     | 1          | 有り    |

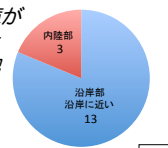
## 7. 考察

### 石屋根倉庫の現存する集落

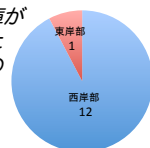
立地特性 → 沿岸部・西岸部に多い

石屋根倉庫(移築等を除く)が確認された全16集落のうち、13集落が沿岸部に位置していた。さらにそのうち12集落が西岸部に位置していた。(2006年の市調査で石屋根倉庫が確認された集落を含む)

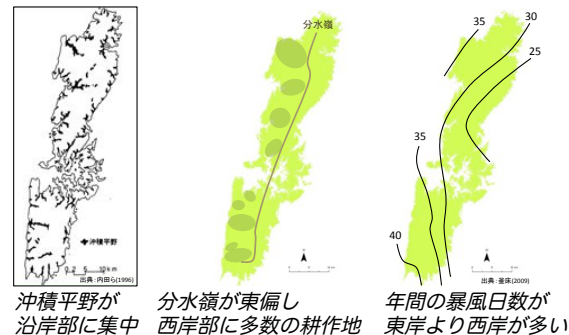
石屋根倉庫が確認された集落の立地



石屋根倉庫が確認された沿岸集落の立地



### 立地要因



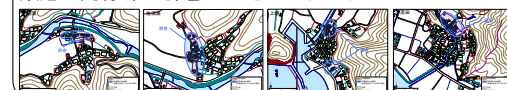
### 立地特性

#### ①形態の特性

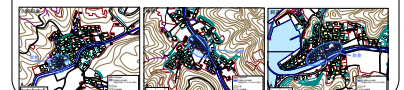
| 集落名  | 立地類型     | 配列類型   | 倉庫の向き | 群倉形態がみられず |
|------|----------|--------|-------|-----------|
|      |          |        |       |           |
| 内山   |          |        |       |           |
| 豆殿瀬  | 運川沿い     | 平行型    | 平側    |           |
| 佐須瀬  | 田んぼ      | 平行型    | 妻側    |           |
| 久根浜  | 海沿い、運川沿い | 平行型    | 妻側、平側 |           |
| 久根田舎 | 運川沿い     | 混合     | 混合    |           |
| 上槻   | 運川沿い     | 平行型、混合 | 妻側、平側 |           |
| 椎根   | 運川沿い     | 平行型    | 平側    |           |
| 小茂田  | 運川沿い     | 混合     | 混合    |           |
| 阿達   | 運川沿い     | 平行型    | 平側    |           |

#### ②集落内立地の特性

##### 集落の周縁部に群倉が立地するタイプ



##### 集落の中央部に群倉が立地するタイプ



##### 集落の周縁部と中央部に群倉が立地するタイプ



### 立地要因

#### 立地特性のみみられる要因

| 立地特性             | 立地要因   | 該当する調査対象集落   |
|------------------|--|--|
| 運川沿いを寄り辺とするものが多い | アクセスが容易  | 豆殿瀬、久根浜、久根田舎、上槻、椎根、小茂田、阿達  |
| 平行型が多い           |  | 豆殿瀬、佐須瀬、久根浜、上槻、椎根、阿達 (久根田舎、小茂田は混合)                                     |
| 平側を寄り辺に向けるものが多い  |  | 豆殿瀬、久根浜、上槻、椎根、阿達 (久根田舎、小茂田は混合)   |
| 周縁部と中央部に二分される    | アクセスが容易<br>防災<br>農耕地へのアクセスが容易<br>聖性を持つ<br>集落の共用空間としてのアクセス性 | ・周縁部型<br>豆殿瀬、佐須瀬、上槻、小茂田<br>・中央部型<br>久根田舎、椎根、阿達<br>・周縁部型と中央部型の両方<br>久根浜 |

## 8. 結論

- ・調査対象集落における石屋根倉庫の棟数は、2006年の市調査時と比較して、減少している集落が多い
- ・調査対象集落のうち、唯一内陸部に位置する内山集落を除いた全集落で群倉形式が見られた
- ・石屋根倉庫が現存する集落と群倉の立地特性には、顕著な傾向がみられた
- ・石屋根倉庫が現存する集落と群倉の立地を決定づける要因として、対馬の気候風土や生業を挙げることができた

